

# 2005年の夏休み

7月30日(土) [小学校1~3年生向け]

8月6日(土) [小学校4~6年生・中学生向け]

午後1時スタート! (午後0時30分開場)

東京国立近代美術館フィルムセンター  
小ホール(地下1階)+展示室(7階)

協力: IMAGICA

映画はどうして動くの?  
活弁ってなんだ?  
松之助ってどんな人気者?  
映画の秘密に  
たつぷりふれる  
楽しいイベント!

## 参加は申込制です

応募方法: 希望日・参加者全員の名前(おとなも子ども)・学年(子どものみ)・電話番号・住所を明記し、下記いずれかの方法で「フィルムセンター子ども映画館係」までお申し込みください。受付票を返信いたします。しめきりは実施日の1週間前(必着)です。各回、定員(150名)に達し次第しめきります。

- ① Eメール kids-cinema@momat.go.jp
- ② ファックス 03-3561-0830
- ③ 往復はがき 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6  
フィルムセンター子ども映画館係

◆内容に関してのお問い合わせ 電話03-3561-0823

- ★「子ども映画館」は子どもたちのためのイベントです。子どもたちの引率や付き添いではない小・中学生以外の方々の単独でのお申し込みはご遠慮願います。
- ★小・中学生であればどちらのプログラムにもお申し込みいただけます。
- ★シニア(65歳以上)の方は、必ず年齢を証明できるものをご提示ください。
- ★当日の入場は会場への先着順です。受付票をご提示ください。発券・開場は開映の30分前から行います。観覧券は当日・当該回にのみ有効です。開映後の入場はできません。
- ★先着50名のお客様に素敵な記念品をさし上げます(小・中学生のみが対象となります)。

料金[当日お支払い]

### ●小ホール(地下1階)

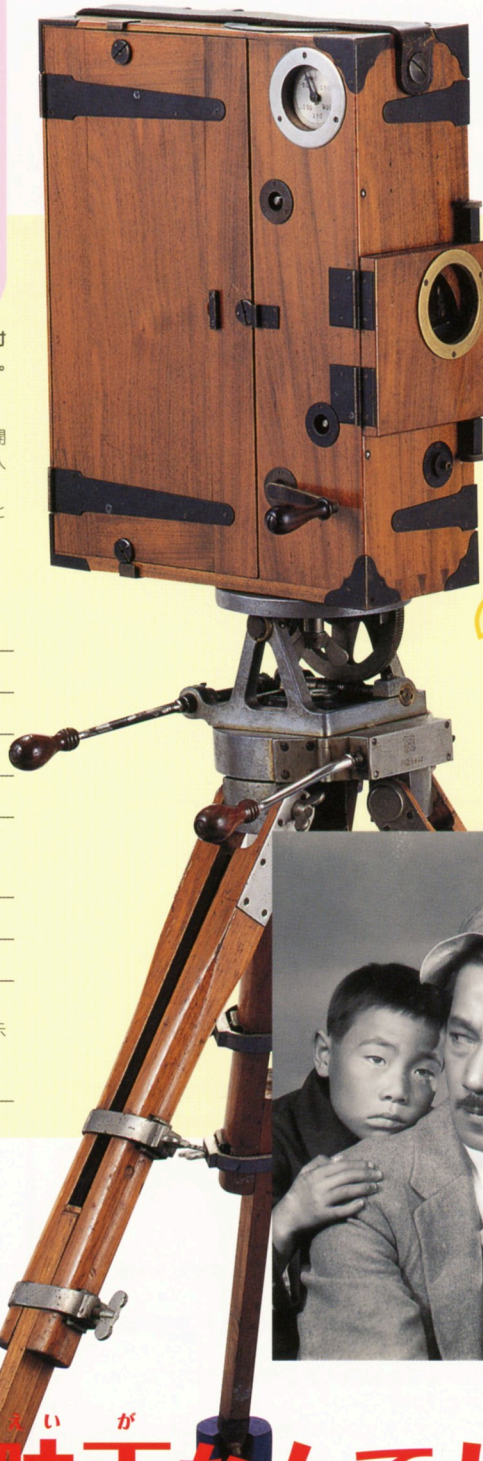
小・中学生	100円
幼児(未就学児童)	無料
一般	500円
高校・大学生・シニア	300円

### ●展示室(7階)

★小・中学生向けセルフガイドを配布しています。

小・中学生	無料
幼児(未就学児童)	無料

一般・高校・大学生・シニア  
「子ども映画館」の上映をご覧になった引率の方は、当日の半券ご提示により展示室が無料になります。  
(通常、一般200円/大学生・シニア70円/高校生40円)



東京国立近代美術館フィルムセンター  
National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

えい が たま て ぼ こ  
映画なんでも玉手箱!

小学校1～3年生向け

7月30日(土) 午後1時スタート!

ごあいさつ

ドリーのぼうけん(12分) [かつべんつき]  
ドリー! ドリー! どこへ行ったの?

えいがのおはなし

さんすうあそび(9分)  
たしざんが走る! ひぎざんが飛ぶ!

おいらのやきゅう(10分) [かつべんつき]  
へんてご野球のアニメーション

えいがのおはなし

こうけつじらいや(21分) [かつべんつき]  
消えて、現れて、すごいぜ「目玉の松ちゃん」!

てんじしつ・えいしやしつへ行こう

みんなで知ろう! 「目玉の松ちゃん」のすべて  
※映写室訪問は当日行う抽選の当選者のみです

(終了予定 午後3時)

司会: 岡田秀則  
板倉史明  
(フィルムセンター)

小学校4～6年生・中学生向け

8月6日(土) 午後1時スタート!

ごあいさつ

サクラより愛をのせて(3分)  
まんいんでんしゃ 満員電車には困った人がいますよね

こうけつじらいや 豪傑児雷也(21分) [活井つき]  
消えて、現れて、すごいぜ「目玉の松ちゃん」!

映画のお話

展示室・映写室訪問  
みんなで知ろう! 「目玉の松ちゃん」のすべて  
※映写室訪問は当日行う抽選の当選者のみです

うま 生れてはみたけれど(91分) [活井つき]  
お父さんは、えらい? えらくない?  
…やっぱりえらい!

(終了予定 午後4時)

日本の映画スター第1号  
目玉の松ちゃんこと  
尾上松之助



弁士: 佐々木亜希子

活動写真(映画)の弁士。NHK山形放送局にてニュース番組のアシスタント・キャスターを務めた後、関東でテレビやラジオのアナウンス、リポーターに携わる。1999年、活井に出会い、2001年より弁士として各地で公演を行っている。昨年、山形県平田町では、親子向け上映でもその弁舌を披露した。



演奏: FEBO

ギター 小沢あき  
ピアノ 永田雅代

保護者・指導教員・引率者の皆様へ

「子ども映画館」は、小・中学生を対象としたフィルムセンターの映画イベントで、夏休みと春休みの期間に開催します。「子ども映画館」は次のような目的で企画されています。

- 子どもたちに、映画という偉大な文化芸術遺産の素晴らしさ、楽しさを知ってもらう。
  - 子どもたちに、テレビ等の家庭内視聴では得られない、大きなスクリーンによる本物の映画(フィルム)を楽しむ機会を提供する。
  - 優れた映画作品の鑑賞を通して、子どもたちの豊かな情操と高い映像理解能力(リテラシー)を育む。
- 子どもたちが映画館に集まり、みんなが暗闇のなかで集中して大きなスクリーンを見つめ、泣き、笑い、緊張し、興奮し、感動する—かつてはごく当たり前であった、こうした映画の原風景の素晴らしさを、今日の子どもたちにも味わってみたいと思います。きっと良い思い出になることでしょう。

■活井とは? 無声映画の時代に映画館で行われていた、弁士による映画説明のことです。

上映作品解説

- ◆ドリーの冒険(1908年)アメリカ/デヴィッド・W・グリフィス監督  
音声も文字もなく、画像だけでストーリーを見事に語った「映画の父」グリフィスのデビュー作
- ◆算数あそび(1956年)カナダ/ノーマン・マクラレン監督  
カナダで活躍した世界的な英国人アニメーション作家マクラレンのちょっと笑える「算数映画」
- ◆おいらの野球(1930年)日本/村田安司監督  
セル画のまだなかった時代、切り絵アニメーションの技術を極めた村田安司のコミカルな一本
- ◆サクラより愛をのせて(1976年)日本/岡本忠成監督  
世の中のにさばる迷惑な人たちの姿をスピーディなタッチで描いた異色の短篇アニメーション
- ◆豪傑児雷也(1921年)日本/マキノ省三監督  
日本最古の映画スター、大正初期の子どもたちのアイドルだった尾上松之助の忍術映画
- ◆生れてはみたけれど(1932年)日本/小津安二郎監督  
世界的巨匠小津安二郎が、大人の世界に触れながら成長する兄弟を描いたモダンな傑作

お問い合わせ

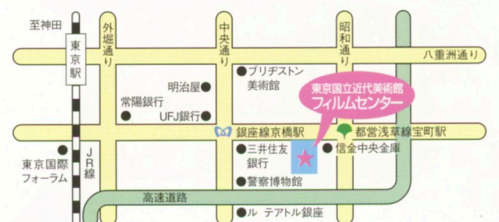
ハローダイヤル  
03-5777-8600

東京国立近代美術館ホームページ  
<http://www.momat.go.jp/>

東京国立近代美術館 フィルムセンター

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

交通: 東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より 徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分



表面写真: 明治・大正時代に使われた日本製のカメラ、「生れてはみたけれど」